



元気な幼年消防クラブ員による分列行進

しものせき トピックス

Shimonoseki Topics

海響アスリート 続々誕生!!

12月20日、第2回下関市「海響アスリート」認定証授与式が市役所でありました。新たに99人が認定され、うち46人が授与式に出席。今回、初の女性海響アスリートが誕生しました。

海響アスリートという称号は、維新・海峽ウオーク(約30キロ)、ツール・ド・しものせき(ロングコース約130キロ)、下関海響マラソン(フルマラソン)の3大会全てを完走・完歩して申請した方に贈られます。



はしご乗り演技クライマックス「宝船」(中央)

新春恒例 「消防出初式」

1月11日、新春恒例の消防出初式が海峽メッセ下関であり、消防職・団員、自衛消防隊員、各消防クラブ員約1220人が参加しました。

分列行進では、幼年消防クラブ員の幼・保育園児が「防火」のまといを持って、元氣に行進。式典の後、消防職・団員が伝統の「はしご乗り演技」を披露しました。繰り出される華麗な演技に会場の観客から大きな拍手が送られました。

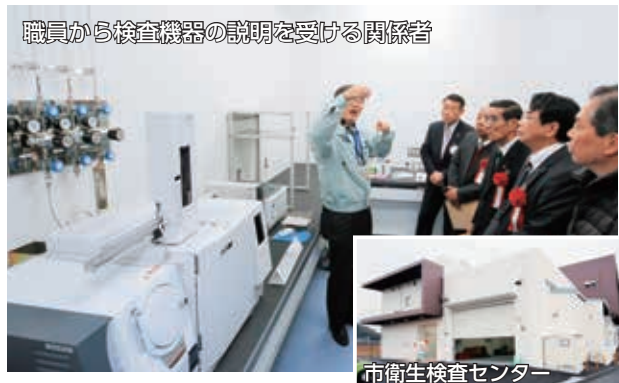


市長から認定証と記念品を受け取る女性海響アスリート

市衛生検査 センター完成

武久町二丁目市衛生検査センターが完成しました。昨年12月26日に内覧会があり、地元自治会などの関係者が施設内を見学しました。

同センターは、鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積1276平方メートルで食品などの衛生検査や食中毒検査、河川や地下水などの環境検査を行います。1階には計量検査場が併設され、「はかり」に関する検査や指導を行っています。



職員から検査機器の説明を受ける関係者



市衛生検査センター

野村直輝選手 横浜FC入団

下関市出身で、日本経済大学サッカー部の野村直輝選手が、元日本代表の三浦知良選手などが所属する横浜FCに入団することになりました。

12月22日、激励会が市内で開かれ、母校の下関中央工業高校サッカー部の恩師や生徒など、多数の関係者が集まりました。「公式戦出場」を目標に掲げた野村選手は、参加者から「ピッチに立つ姿を楽しみにしています」と声を掛けられていました。



多くの激励を受けた野村選手(シーモールパレス)

20歳の誓い 成人の日記念式典

1月13日の「成人の日」を前に、市内3カ所で行われた。今年市内の成人式があり、対象者は2617人です。

二ノ丸、豊浦夢が丘スポーツセンターの各会場では「はたちの誓い」など、新成人の代表がそれぞれ大人としての決意を発表しました。会場のあちこちでは、友人と記念写真を撮り合う姿や、恩師との再会を喜び、話に花を咲かせる姿がありました。気持ちを新たに、20歳の門出を祝いました。



卒業した学校の写真や恩師からのメッセージを展示(アブニール)



豚汁とおにぎりがふるまわれ、古里の味を楽しむ新成人(アブニール)



記念撮影(市民会館)



(夢が丘スポーツセンター)



式典後のライブパフォーマンス(市民会館)



(夢が丘スポーツセンター)

豊田中スポーツ少年団でソフトボールを始め、同団で投手を経験した後、豊田西中学校・豊北高校の野球部でも主に投手を務めました。その後、北九州市立大学に進学。大学野球では、なかなか思うような結果が生まれませんでした。4年生春のリーグ戦で、今まで以上に制球(コントロール)

昨年10月に行われた「プロ野球ドラフト会議」で、下関市出身の平田真吾さん(24)が、横浜DeNAベイスターズから指名を受け、プロ入りすることになりました。平田さんは、ベ이스ターズからの指名を予想していなかったため、指名された瞬間は喜びとともに、驚きも大きかったそうです。

自分自身がどこまで成長 できるか楽しみ

入団が決まり、「より高いレベルでの勝負になるので、そこで自分の力がどれくらい通用し、成長できるか楽しみ」という平田さん。プロ野球の世界でどんな投球を見せてくれるのでしょうか。今から楽しみます。

に注意して投球した結果、制球力に加え球速が上がりました。この登板をきっかけに秋のリーグ戦でも活躍し、社会人野球入りが決定。この時、「社会人でやるからにはさらにその上を目指そう」と目標をプロ野球に掲げました。社会人野球でも練習を重ね、150キロ近い直球や変化球を武器に全国大会などで活躍し、念願のプロ野球への道が開けることとなりました。

横浜DeNAベイスターズに入団する

平田真吾さん



母校の豊田中小学校にて